KIORITZ

共立バッテリー背負動力噴霧機

取 扱 説 明 書

型 式

BSH171

⚠ 警告
ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。 取扱説明書の指示内容を守ってください。 守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　次

安全にご使用いただくために 3

1 付属品の確認 8

2 各部の名称と警告表示ラベル 9

3 作業の準備 10
3-1. バッテリの充電 10
3-2. バッテリの取り付け・取り外し 12
3-3. 組み立て 12
3-4. 薬液の準備 13

4 始動・停止 15
4-1. 始動 16
4-2. 停止 17
4-3. バッテリ容量表示 17
4-4. エラー表示 18

5 噴霧作業 19
5-1. 噴霧作業 20
5-2. ノズル 20

6 点検・整備 22
6-1. 点検・整備の目安 22
6-2. 点検・整備要領 23

7 保管 24

8 故障対策 25
8-1. 故障診断表 25
8-2. 製品の廃棄 26
8-3. バッテリの回収 26

9 仕様 27

10 その他 28
10-1. 補用品と消耗品 28

安全にご使用いただくために

警告表示について

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。**	**その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。**

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		高温部に注意すること
	作業中は保護具を必ず着用すること		雨中では使用しないこと
	火災に注意すること		毒性に注意すること
	電気ショックに注意すること		

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書



- **この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。**
- **この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。**
- **製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。**
- **使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。**
- **損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から購入してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

- **この製品は、家庭用・農業用の薬液噴霧作業のために作られたものです。**
- **本書に記載されている用途以外に使用しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- **製品を改造しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- **定期的に点検・整備をしてください。**
- **点検・整備をするときは、バッテリを取り外してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- **製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者



- **体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。**
- **次のような人は使用しないでください。**
  - **妊娠している人**
  - **16 歳未満の人**
  - **取扱説明書の内容を理解していない人**
  - **農薬の影響を受けやすい人**

事故や重傷を負う原因となります。

保証書

- **使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。**

健康管理

- **休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。**
- **作業中に体調が悪くなった場合はすぐに作業を中断してください。**
- **長時間の連続作業は避け、2 時間を限度としてください。**

健康障害を受ける恐れがあります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

服装の点検

❍ 身体に合った作業衣を着用し、次のことを守ってください。

- **上着（長袖）のボタン、ファスナを完全にし、袖口をきちんと閉め、すそはズボンに入れる**
- **ズボンはすそ閉まりの良い長ズボンを着用し、すそは作業靴の上部にはさみ込む**
- **ネクタイや装飾品は着用しない**
- **髪の毛は肩より上でまとめる**

事故や重傷を負う原因となります。

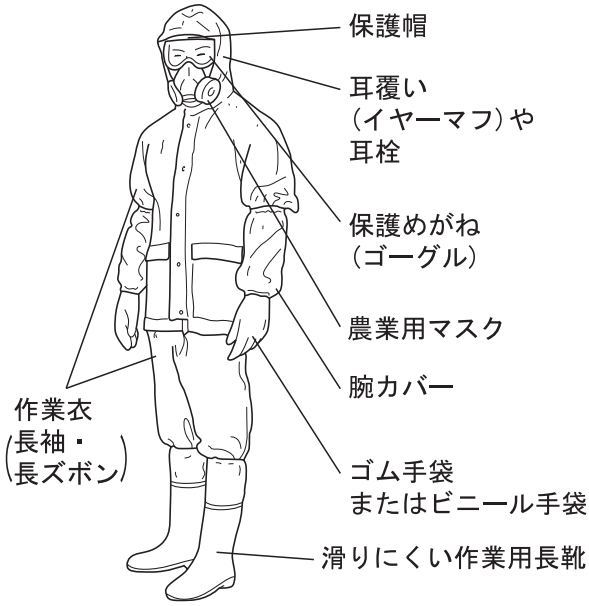
保護具の着用

❍ 農薬に直接触れないようにしてください。
❍ 下記の保護具を着用してください。

- **保護帽 (ヘルメット) : 頭部の保護**
- **耳覆い (イヤーマフ）や耳栓 : 聴力の保護**
- **保護めがね (ゴーグル) : 目の保護**
- **農業用マスク : 呼吸器の保護**
- **ゴム（ビニール）手袋 : 農薬から手を保護**
- **滑りにくい作業用長靴 : 足の保護**

農薬に直接触れたり吸引すると、薬害事故を引き起こす原因となります。

＊ **製品には、薬液噴霧時に着用するマスクとして防除マスクを付属していますが、防毒マスクではありませんので、防毒マスクとしての使用はできません。**



製品の使用環境・作業環境

❍ 次のような場合は製品を使用しないでください。

- **降雨時や落雷の恐れがあるとき**
- **急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所**
- **夜間や視界が悪い場所**

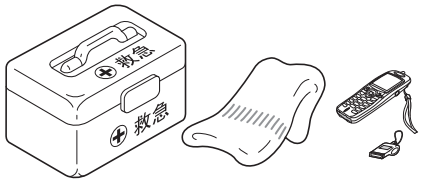
転落や滑落、誤った操作などにより事故や重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

❍ 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- **救急箱（応急手当用）**
- **タオルや手ぬぐい（止血用）**
- **呼子や携帯電話（外部との連絡用）**

応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



発火・発煙・火災への備え

❍ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。
❍ モータユニットから発火または発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。
❍ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

安全にご使用いただくために

充電器、バッテリ　取り扱い上の注意

⚠ 危険

充電器

❍ 定格表示 (AC100 V) してある電源で使用してください。

誤った充電条件で充電すると、充電ができなかったり異常な充電が行われ、バッテリの発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ 充電器の分解、改造をしないでください。

発熱、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ 自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所で充電しないでください。

高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり、火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

バッテリ



❍ バッテリを液体で濡らさないでください。

バッテリが異常な電流、電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ 自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。

バッテリの漏液させる原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ 本書に記載している専用の充電器で正しく充電してください。
❍ 外傷、変形の著しいバッテリは使用しないでください。
❍ バッテリの分解、改造をしないでください。
❍ バッテリは次のような取り扱いをしないでください。

- **火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱する**
- **強い衝撃を与える**
- **鋭いもので刺したり、踏みつける**
- **バッテリの端子部に直接はんだ付けをする**
- **バッテリの + 極と - 極を金属で接続する**
- **保管の際に電気を通しやすいものと一緒にする**

絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷し、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ バッテリを直接電源コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。

感電、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

充電器

- **規定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は充電をやめてください。**
  感電、発熱、破裂、発火の原因となります。
- **濡れた手で電源プラグに触れないでください。**
  感電の原因となります。



- **風通しの良い場所で充電してください。**
- **雨中や湿気の多い場所で充電をしないでください。**
  感電やバッテリの発熱、破裂、発火の原因となります。
- **充電器から煙が出たり、発火した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**
  発熱、破裂、発火の原因となります。
- **充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**
  感電やショートして発火する原因となります。

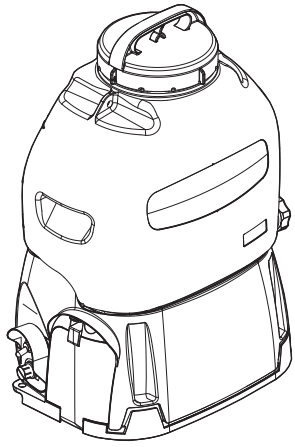
バッテリ

- **電子レンジや高圧容器の中に入れないでください。**
  バッテリの密封状態が壊れ、発熱、破裂、発火の原因となります。
- **バッテリの通風口をふさがないでください。**
  発熱、破裂、発火の原因となります。
- **作業をしないときはバッテリを取り外してください。**
  不意の始動で事故や重症を負う原因となります。
- **充電中はバッテリを可燃物に近づけたり、覆ったりしないでください。**
  発熱、破裂、発火の原因となります。
- **バッテリの使用、充電、保管時に、異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、製品または充電器より取り出し、使用しないでください。**
  発熱、破裂、発火の原因となります。
- **バッテリの液漏れや異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。**
  液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。
- **液漏れした電解液が目に入ったり皮膚についた場合は、流水で洗浄し直ちに医師の手当てを受けてください。**
  失明したり、皮膚がかぶれたりする原因となります。

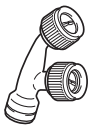
1. 付属品の確認

❍ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

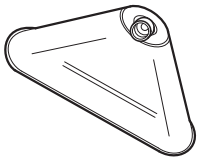
製品本体



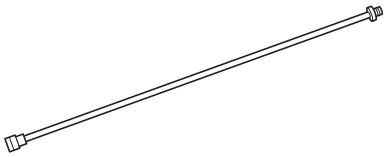
本体



ノズル



除草カバー



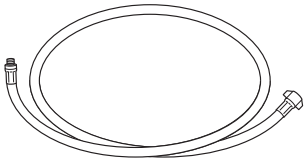
ノズルパイプ



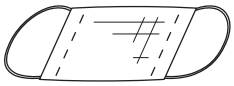
ノズルコック



ノズルグリップ



ホース

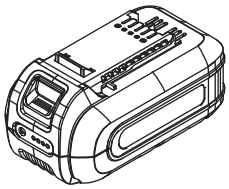


防除マスク

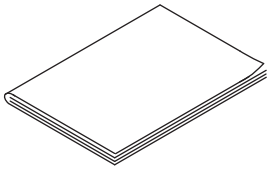
取扱説明書

保証書

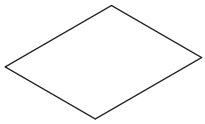
バッテリの箱（別売品）



バッテリ

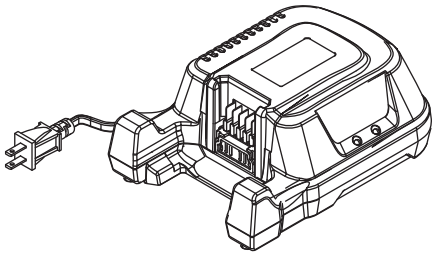


取扱説明書

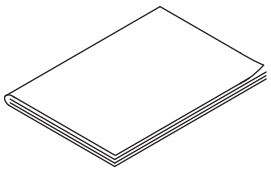


保証書

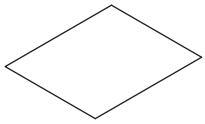
充電器の箱（別売品）



充電器



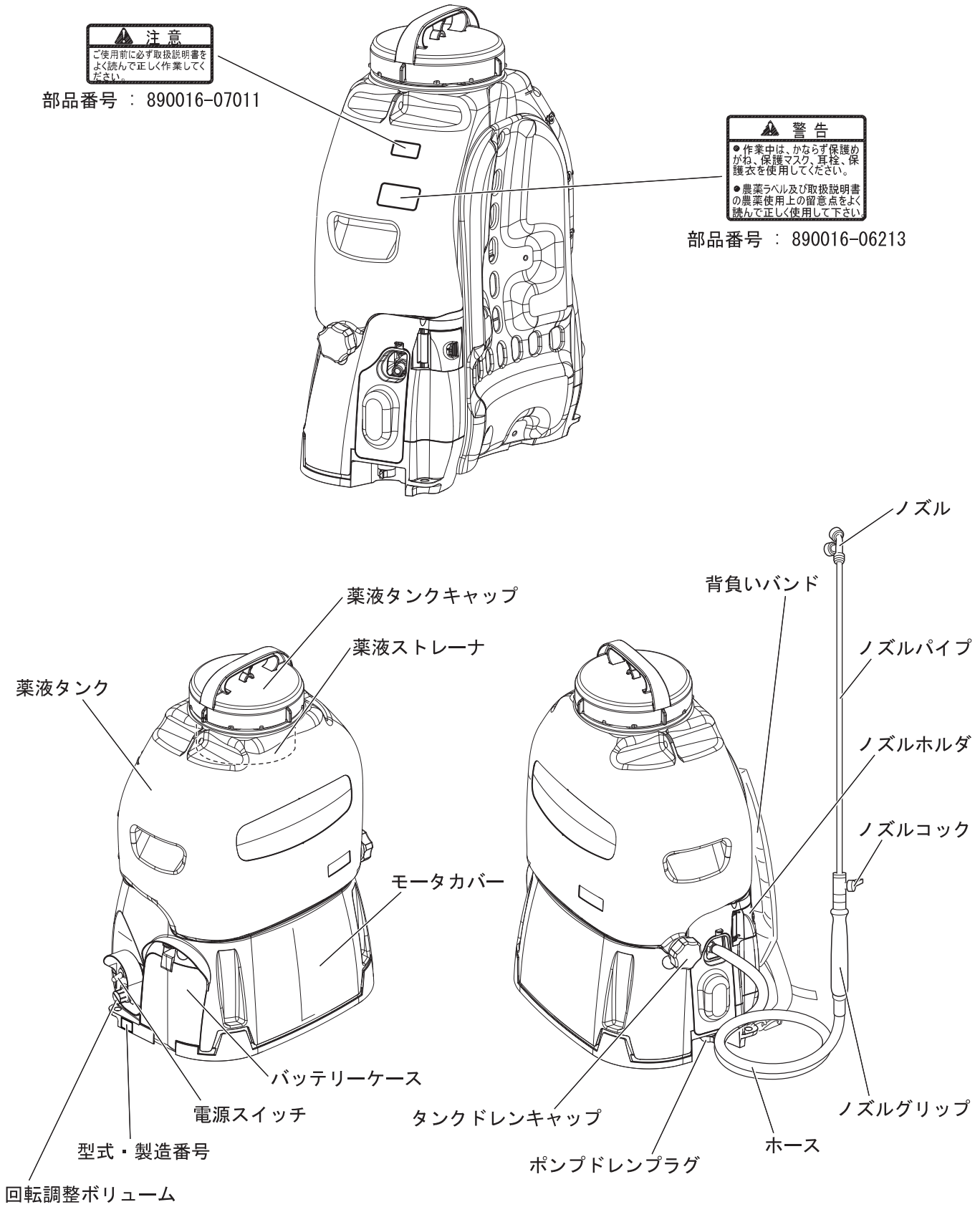
取扱説明書



保証書

2. 各部の名称と警告表示ラベル

❍ 本書で説明している製品の各部の名称および警告表示ラベルを示しています。ご使用前に各部の名称およびラベルの意味を理解してください。
❍ ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



3. 作業の準備

3-1. バッテリの充電

⚠ 注意

❍ **充電器の通風口をふさがないでください。**
バッテリが発熱、破裂、発火する恐れがあります。



❍ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**

- **コードを持って充電器を運ばないでください**
- **コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください**
- **踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないようにしてください**

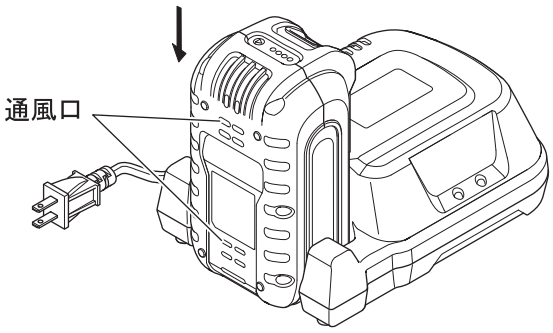


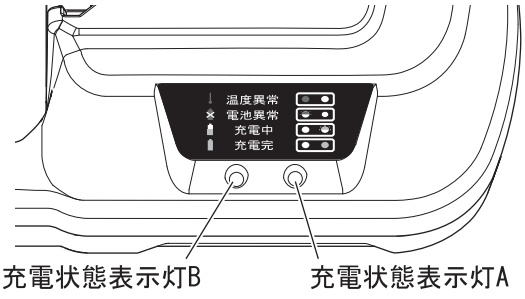
❍ **損傷した充電器は使用しないでください。**
感電やショートして発火する恐れがあります。

重要

❍ 充電温度範囲（5 ～ 40 ℃）以外で充電しないでください。
❍ 初めてご使用する際に、サビ、破損など外観の異常が見られた場合は、使用しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。
❍ 輸送時はバッテリが破損したりショートしないように梱包してください。
❍ 長期間本製品を使用しない場合は、規定充電量の約半分を充電し、乾燥した場所で保管してください。また、6ヶ月に一度は補充電をしてください。
❍ 規定時間（27 ページの「仕様」を参照）の充電をしても使用時間が極端に短くなった場合は、指定の新しいバッテリと交換してください。

■バッテリの充電





初めて使用する前に、必ず補充電をしてください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセント (AC100 V) に差し込んでください。
2. バッテリの通風口にゴミ、ホコリなどが無いことを確認してください。
3. バッテリを充電器の差し込み口に確実に差し込んでください。

重要

❍ 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
❍ 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

4. 充電器の充電状態表示灯 A が緑色に点滅し、充電を開始します。充電中、バッテリの容量表示灯が右から左にかけて点滅します。充電器の緑の点滅が点灯に変われば充電完了です。(目安 50 分)

＊ 充電中は充電器内臓の冷却ファンが働きます。

5. 充電中、もしくはバッテリを充電器に差し込んだ時点で、充電状態表示灯 B が赤く点滅している場合は、バッテリまたは充電器の異常です。速やかにバッテリを充電器から外し、充電器の電源プラグを電源コンセントから外して充電をやめてください。
6. 充電が終わったらバッテリを充電器から外し、充電器の電源プラグを電源コンセントから外してください。

＊ 充電が終了したバッテリを充電器に差し込んだままにすると、バッテリ劣化の原因となります。

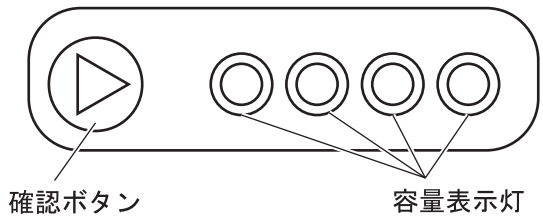
3. 作業の準備

■充電器の充電状態表示灯

充電器には充電状態を表示する充電状態表示灯が前面についています。バッテリを充電器に差し込んだときに点灯または点滅します。

充電状態表示灯の表示		状態	内容及び対処方法
	緑点滅	充電中	充電中です。
	緑点灯	充電完了	充電が完了しました。充電器からバッテリを取り外してください。
	赤点滅	充電不可	充電ができない状態です。バッテリの取り付け部分または充電器とバッテリの端子部が汚れていないかを確認し、汚れていたら清掃してください。 ◆ 上記を確認して状態が改善されない場合は充電器またはバッテリの異常と考えられます。販売店にご連絡ください。
	赤点灯	温度待機	バッテリの温度が充電可能温度範囲外です。バッテリが充電可能温度になれば自動的に充電を開始します。

■バッテリの容量表示

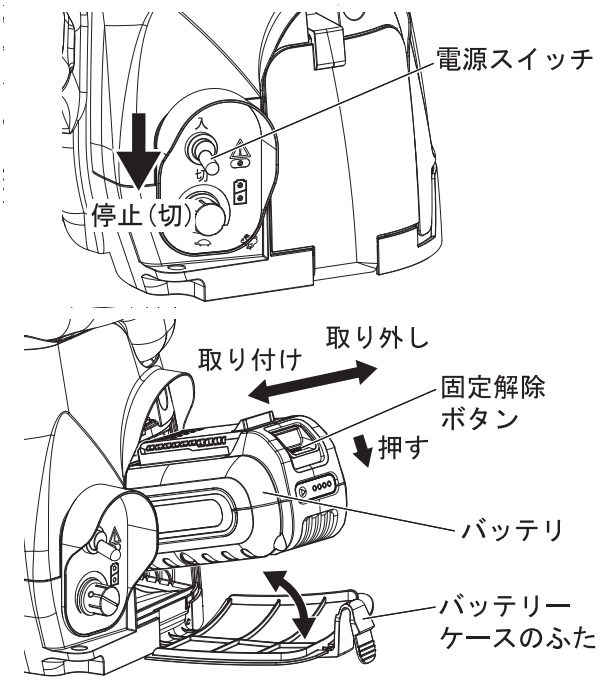


バッテリの確認ボタンを押すと、容量表示灯が点灯または点滅して容量を表示します。

容量表示灯の表示		容量	容量表示灯の表示		容量
	4 灯全て点灯	80-100%		1 灯のみ点灯	10-39%
	3 灯が点灯	60-79%		1 灯のみ点滅	10% 未満
	2 灯が点灯	40-59%		4 灯全て点滅	残量無し

3. 作業の準備

3-2. バッテリの取り付け・取り外し



■ 取り付け

(1) 電源スイッチを停止位置 (切) にしてください。
(2) 製品側面のバッテリーケースのふたを開いてください。
(3) バッテリ取り付け位置の溝にバッテリを合わせ、確実に差し込んでください。
(4) カチッと音がして、固定解除ボタンがもとの位置に戻りバッテリが固定されていることを確認してください。
(5) バッテリが固定されていない場合は再度差し込んでください。
(6) バッテリが固定されていれば取り付け完了です。
(7) バッテリーケースのふたを閉じてください。

■ 取り外し

(1) 電源スイッチを停止位置 (切) にしてください。
(2) 製品側面のバッテリーケースのふたを開いてください。
(3) 取り外すときは、バッテリの固定解除ボタンを押しながら製品本体より引き抜いてください。
(4) バッテリーケースのふたを閉じてください。

3-3. 組み立て

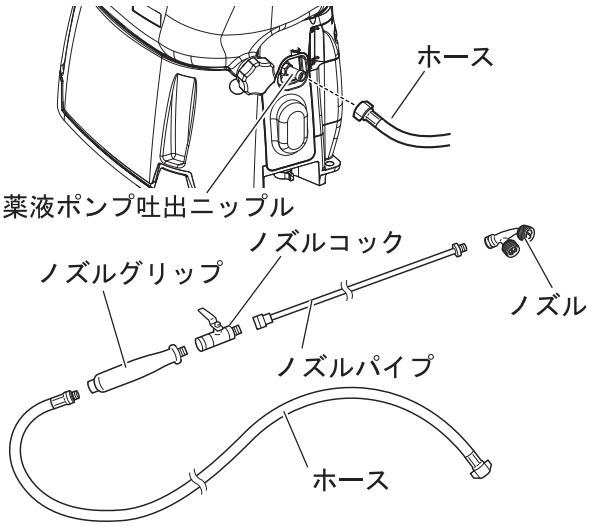
⚠ 警告

❍ **取扱説明書をよく読んで、正しく組み立ててください。**

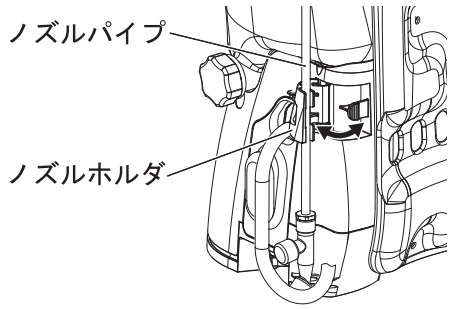
誤って組み立てた製品を使用すると、事故や重傷を負う原因となります。
また、組み立てが不確実ですと、薬液が漏れ、薬害事故の原因となります。



■ホースとノズルの組み立て

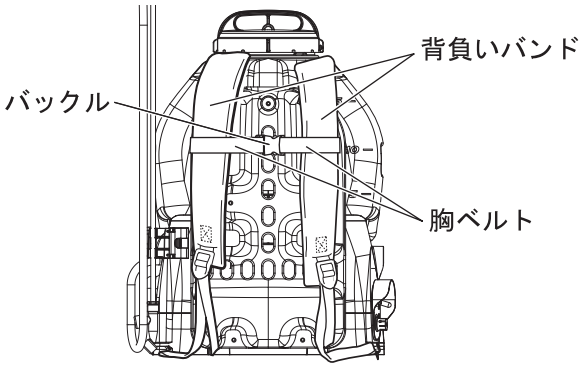


1. 薬液ポンプ吐出ニップルにホース、ノズルグリップ、ノズルコック、ノズルパイプ、ノズルの順に組み付けてください。



2. 製品を使用しないとき（格納時、運搬時など）にはノズルパイプをノズルホルダに固定しておくことができます。
3. 噴霧作業時にはノズルホルダは折りたたんでおきます。

■背負いバンドの調整



1. 作業者の体格に合わせて、背負いバンドの長さを調整してください。
2. 胸ベルトの長さと高さを調整してバックルをつなげてください。

3-4. 薬液の準備

⚠ 警告

<u>農薬の取り扱い</u>

❍ 農薬ラベルをよく読み、必ず記載されている事項を確認してください。
❍ 製品ならびに農薬の知識を持った人が、農薬を取り扱ってください。

農薬の誤った使用は、重大な薬害事故の原因となります。

❍ 農薬は残らないよう調製し、必ず使い切ってください。
❍ 子供の手の届かない場所に保管してください。

第三者が農薬と知らずに誤って飲み込むなど、重大な薬害事故を引き起こす原因となります。

<u>農薬使用上の注意</u>

❍ 農薬に直接触れないでください。
❍ 農薬が目に入らないようにしてください。
❍ 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
❍ 誤飲、誤食に注意してください。誤って飲み込んだ場合は直ちに吐き出して、医師の手当てを受けてください。
❍ 農薬使用中に異常を感じたときは、作業を中止し、直ちに医師の手当てを受けてください。
❍ 農薬の種類によっては、

- **農薬が目に入った場合は直ちに水洗いし、眼科医の手当てを受けてください。**
- **かぶれを生ずる場合があるので注意してください。かぶれやすい人は使用を控えてください。**

- 平成 15 年 3 月の農薬取締法改正にともなう省令に基づく使用基準により

（1） 使用する作物に登録のある農薬を使用すること
（2） 使用濃度（希釈倍率）および面積あたりの使用量
（3） 収穫前使用日数
（4） 使用回数
の 4 点については農薬使用者が遵守する義務が生じています。

3. 作業の準備

重要

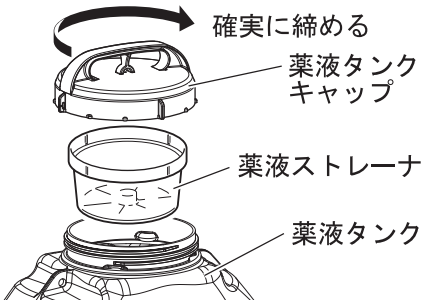
❍ 製品の薬液タンク内で薬液を直接調合せず、バケツなどの容器で決められた希釈倍率に調合してください。
❍ 濃度が均等になるように薬液を溶かしてください。
❍ 水和剤を使用する時は、固まりが残らないようにしてください。固まりが残ると、ポンプの故障、ノズルの目詰まりの原因となります。

■薬液の補給

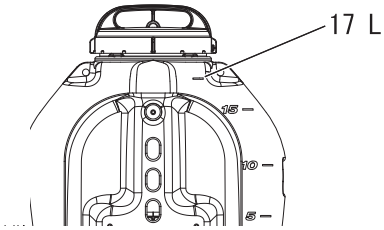
⚠ 警告

❍ **薬液補給前に必ずノズルコックを閉じ、タンクドレンキャップを締め付け、ポンプドレンプラグを取り付けてください。**

こぼれた薬液による薬害事故の原因となります。



- 薬液タンクキャップを開け、必ず薬液ストレーナを使用して補給してください。(タンク内のゴミは、ノズルの詰まりの原因となります)
- 補給後は薬液タンクキャップを確実に締め付けてください。



＊ 薬液タンクには 15 L まで 5 L 毎に目盛があります。最も上の目盛は 17 L を示します。

タンク容量
17 L (満タン時 17.5 L)

4. 始動・停止

⚠ 警告

❍ **製品を始動するときは、特に次のことを守ってください。**

- **製品を平坦で通気の良い、可燃物のない場所に置く**
- **各部を点検し、製品の損傷やボルト・ナット類にゆるみがないことを確認する**
- **薬液タンクキャップはしっかり締め付ける**
- **ノズルコックは閉じる**
- **薬液（清水）が漏れていないことを確認する**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**
- **製品が障害物と接触していないことを確認する**

けがや重傷を負う原因となります。

❍ **ハウス内防除の際は、出入り口を開放し、天窓を開けたり巻き上げをして、通気、換気に十分注意してください。**



薬液による中毒事故の原因となります。

❍ **製品を始動したら、異常振動・異常音が発生していないかを確認してください。**
異常がある場合は直ちに停止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

部品の脱落、飛散などにより、重傷を負う原因となります。

❍ **製品の運転中および停止後しばらくの間は、高温部に触れないでください。**



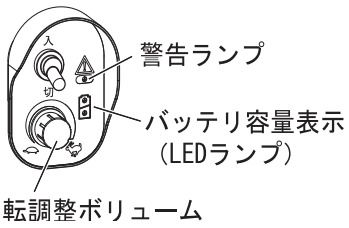
高温部に触れると火傷します。

重要

❍ 製品の状態表示

- 3 つの LED ランプで状態を表示します。

17 ページの「バッテリ容量表示」を参照
18 ページの「エラー表示」を参照



❍ ポンプの作動・停止

- 製品は圧力スイッチを内臓しており、ノズルコックの開閉に連動してポンプが作動・停止します。
- ノズルコックを閉じてからポンプが停止するまで 15 秒程度かかる場合があります。

❍ 運転モード

- 製品にはノーマルと大吐出量の 2 つの運転モードがあります。
- 電源スイッチを入れるときの回転調整ボリューム位置でモードを切り替えます。

ノーマルモード（回転調整ボリューム位置最小以外で電源スイッチを入れる）

- 薬液タンクが空になるとポンプが自動停止します（空運転検知機能）。
- 通常はノーマルモードでご使用ください。

大吐出量モード（回転調整ボリューム位置最小で電源スイッチを入れる）

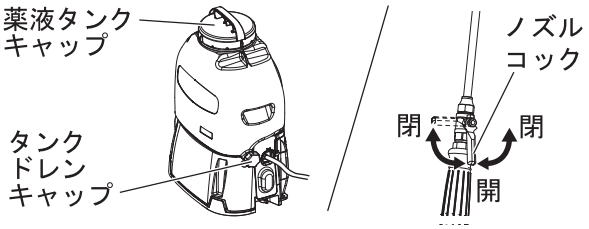
- ノーマルモードでは使用できない吐出量の多いノズルを使うためのモードです。
- 起動時にバッテリ容量表示（LED ランプ）2 個と警告ランプが 5 秒点灯し、大吐出量モードに切り替わったことを表示します（大吐出量モード表示機能）。
- 5 秒後に警告ランプは消灯し、バッテリ容量表示（LED ランプ）は、現状のバッテリ容量表示に切り替わります。
- 空運転検知機能が無効になります。薬液タンクが空になったらすぐに電源スイッチを切りポンプを停止してください。

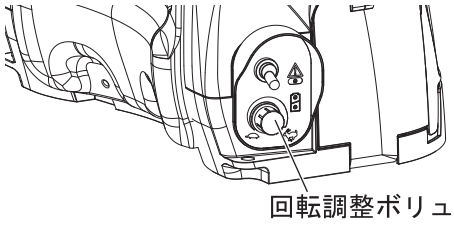
  薬液タンクが空の状態ではノズルコックを閉じてもポンプは停止しません。
  始動後にノズルコックを開いてから噴霧するまで時間がかかることがあります。
  噴霧前にポンプが停止してしまう場合は、大吐出量モードで使用してください。

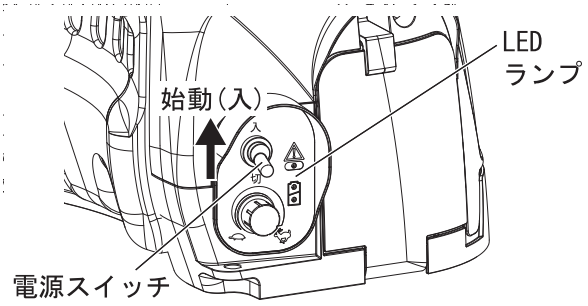
❍ 薬液タンクに薬液または清水を入れから製品を始動してください。
❍ ノズルによっては製品を使用できない場合もあります。

4. 始動・停止

4-1. 始動







ノーマルモードでの始動を基本に説明しています

1. 製品を平坦な地面に置き、ノズルコックが閉じていることを確認してください。
2. 薬液（清水）が漏れていないことを確認してください。
3. 回転調整ボリュームを作業時の回転に合わせてください。（大吐出量モードで始動する場合は、最小位置 にします。）
4. 周囲の安全を確認して、電源スイッチを始動位置 (入) に動かして電源を入れてください。
   電源が入ると LED ランプが点灯しバッテリ容量を表示します。
   大吐出量モードでは電源が入ると LED ランプ（3 個）が 5 秒間点灯し、その後、バッテリ容量表示に切り替わります。
5. 電源が入るとモータが動き始めますので回転調整ボリュームでモータの回転数を調整してください。大吐出量モードで始動した場合は、回転調整ボリュームを回すとモータが動き始めます。
   ノズルコックが閉まった状態では圧力スイッチが作動してモータが自動で止まります。ノズルコックを開くとモータが再び動き始めます。

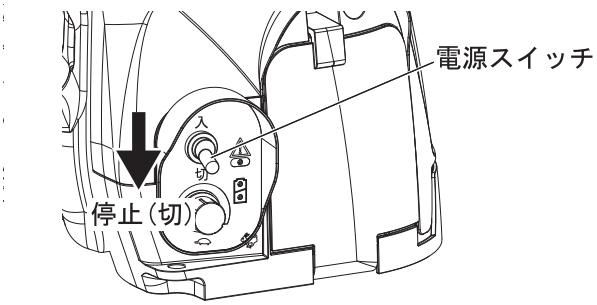
＊ 電源スイッチを入れたまま約 10 分間作動が無いと、自動的に電源が切れ LED ランプが消灯します。再度操作を開始するには電源スイッチを入れなおしてください。

＊ 注水後の初始動時、ポンプのエアかみによる空運転を検知してモータが停止した場合は、一度電源スイッチを切り、5 秒以上待ってから大吐出量モードで電源スイッチを入れなおしてください。この状況ではノズルコックを開いてから噴霧するまでの時間が長くなることがあります。

4. 始動・停止

4-2. 停止

1. ノズルコックを閉じてください。

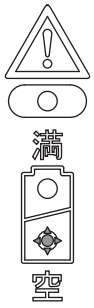


2. 電源スイッチを停止位置 (切) に動かして電源を切ってください。
   LED ランプが消灯します。
   * 製品が停止しないときは、バッテリを取り外してください。（12 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照）
   再び製品を使用する前に、お買い求めの販売店に電源スイッチの点検と修理を依頼してください。
   * 作業後はノズルコックを開いて配管内の圧力を抜いてください。

4-3. バッテリ容量表示

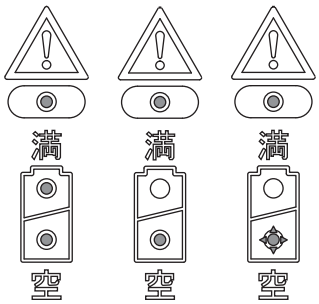
* 電源が ON の状態のときに表示します。
- 電源を入れるとバッテリ容量表示ランプが点灯または点滅します。
- 電源を切るとバッテリ容量表示ランプが消灯します。

LED の点灯状態とバッテリ容量は下表のようになっています。

	2 個点灯	1 個点灯	1 個点滅 （毎秒 1 回点滅）
LED の点灯状態			
バッテリ容量	60 ～ 100%	15 ～ 59%	15% 未満

* バッテリ容量表示はバッテリ温度や周囲温度等で多少異なりますので、目安として見てください。

4-4. エラー表示

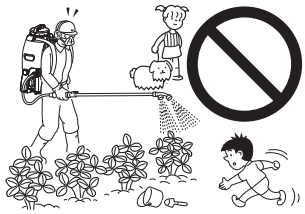
LED の点灯状態		エラー内容 ／ 原因 ／ 復帰方法
■ バッテリ容量表示が上下交互に点滅		・エラー内容：バッテリの容量が残り少ない ・復帰方法　：電源スイッチを入れなおしてください。 ＊ この状態になると、モータの回転が少しずつ下がりながら停止します。電源スイッチを入れなおすと数分程度の作業が可能です。(バッテリ残量お知らせ機能)
■ バッテリ容量表示が 1 個点滅（毎秒 4 回点滅）		・エラー内容：バッテリの容量不足 ・復帰方法　：バッテリを充電してください。
■ 警告ランプが点灯、バッテリ容量表示は点灯または点滅（ノーマルモード運転時）		・エラー内容：空運転による停止 ・原因　：①薬液タンクに薬液または水が入っていない ②吐出量の大きいノズルを取り付けた場合、またはノズルを取り付けていない ・復帰方法　：①薬液タンクに薬液または水を補給してください。 ②指定のノズルを取り付けてください。
■ 警告ランプが点灯		・エラー内容：過熱による停止 ・原因　：本機（基板）やバッテリが高温になっている ・復帰方法　：冷却後にスイッチを入れなおしてください。
■ バッテリ容量表示、警告ランプの 3 個が点滅		・エラー内容：始動不良、過負荷による停止、回路異常 ・原因　：ポンプのロック、回路異常など ・復帰方法　：お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

※ 大吐出量モードでは、起動時にバッテリ容量表示（LED ランプ）2 個と警告ランプが 5 秒間点灯します（大吐出量モード表示機能）。
※ ノズルコックを閉じてからポンプが停止するまで最長 15 秒程度かかる場合があります。

5. 噴霧作業

⚠ 警告

第三者の立入禁止



- **作業関係者以外の人・家畜・養蚕・養蜂・他の作物などが近くにないことを確認してください。**
- **農薬噴霧直後のほ場に無防備で立入らないでください。除草などの管理作業はあらかじめ行なってください。**

薬害事故の原因となります。

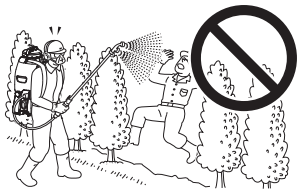
製品は常に正立状態で使用

- **製品は真直ぐ立てた状態で使用するよう設計されています。使用時および移動時に、横にしたり極端に傾けたりしないでください。**

薬液漏れの原因となります。

製品使用時

- **製品を使用するときは、特に次の項目を守ってください。**



- **ノズルを人や動物に向けない**
- **ノズルグリップは、しっかりと握る**
- **全装備での製品操作は、バランスを失わないように注意**

事故や傷害の原因となります。

- **製品を置いた状態で使用する場合は、周囲に障害物がないことを確認し、平坦で安定した場所に置いて作業を行なってください。**

事故や傷害の原因となります。

悪条件下での作業禁止

- **風が強いときには噴霧作業を行なわないでください。薬液の分散を防ぐため、噴霧作業は風のない温度が安定している朝、または夕方を選んで行なってください。**

風に乗って予期しない方向へ農薬が飛び、薬害事故を引き起こす原因となります。

- **噴霧は、風下に向かって行なってください。**

作業者側に薬液が飛ぶ原因となります。

- **環境に配慮した使用が必要です。**

防除対象作物以外への飛散がないよう注意してください。

薬液の取り扱い

- **薬液はタンクからあふれるほどの量を入れないでください。また、こぼれた薬液はすぐに拭き取ってください。**
- **薬液タンクキャップはしっかりと締め、運転中に薬液が漏れないようにしてください。**

こぼれたり漏れた薬液は、放置しておくと薬害の原因となります。

運転中は薬液タンクキャップをゆるめない

- **運転中に、薬液タンクキャップをゆるめたり開けないでください。**

薬液が吹き出し、事故の原因となります。

作業中の飲食禁止

- **薬液の噴霧作業をしながら、喫煙、飲食をしないでください。**

タバコや飲食物に付着した農薬が、それらを介して体内に入る恐れがあります。

身体に異常を感じたら

- **作業中あるいは作業終了後に身体に異常を感じたときは、すぐに医師の診察を受け、使用していた農薬の種類を告げてください。**

処置が遅れることにより、重大な薬害につながることがあります。

5. 噴霧作業

⚠ 警告

作業時の着衣は、他と別に洗濯

❍ **薬液噴霧作業中に着ていた服は、他の衣服とは別に洗濯してください。**

付着した農薬が、他の衣服に移る原因となります。

重要

❍ 大吐出量モードでは空運転検知機能が無効になります。薬液タンクが空になったらすぐに電源スイッチを切りポンプを停止してください。

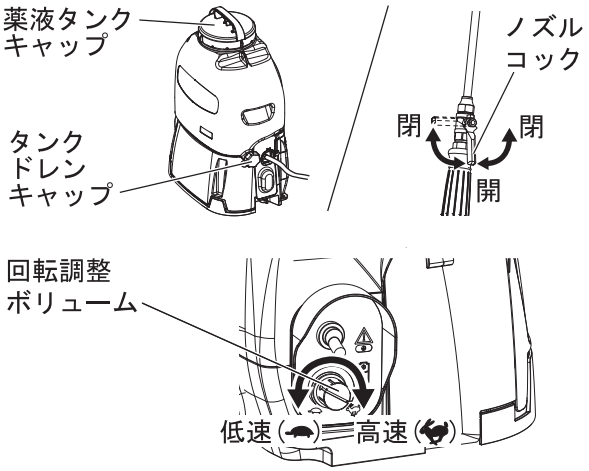
薬液タンクが空の状態ではノズルコックを閉じてもポンプが停止しません。

❍ 製品を転倒や落下させないでください。特に薬液が入った状態で転倒や落下すると、製品が破損する恐れがあるので、十分注意してください。

❍ 過負荷による自動停止が頻繁に起こる場合には、お買い求めの販売店に点検を依頼してください。

5-1. 噴霧作業

■操作



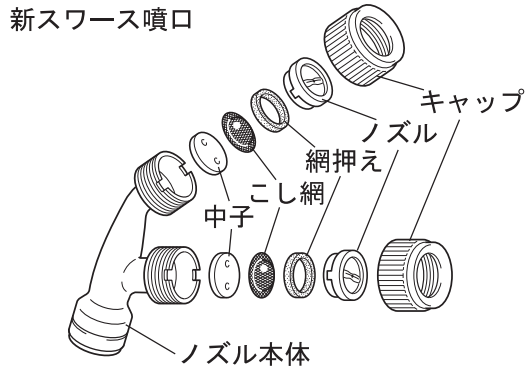
1. ノズルコックは噴霧作業を始めるまで必ず閉じておいてください。薬液系統に漏れがないか確認してください。
2. 作業開始時にノズルコックを開いてください。

＊ ノズルコックは完全に開けて作業をおこなってください。

3. 回転調整ボリュームを調整して、作業に応じた回転に合わせて作業をおこなってください。

＊ 吐出量の調整はノズルコックの開度で行わず、必ず回転調整ボリュームで調整してください。

5-2. ノズル

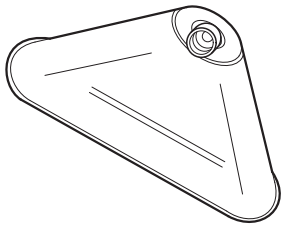


付属ノズル：新スワース噴口 NH-B-2-2K

ノズル圧力	ノズル吐出量
2.2 MPa	1.9 L/min

5. 噴霧作業

除草カバー



- 除草剤を噴霧するときはノズルを付属の除草カバーに組み替えてください。

付属除草カバー：サマーラックみえ～る６ K 型

ノズル圧力	ノズル吐出量
1.0 MPa	1.40 L/min

- 除草剤噴霧後は清水運転を行ない薬液タンク、薬液ポンプ、薬液ホース内の除草剤を完全に排出してください。
- ノズルを取り付けずに噴霧作業を行わないでください。製品が異常を検知して停止することがあります。
- 大吐出量モードは吐出量の多いノズルを使用するためのモードです。（ノズルによっては製品を使用できない場合もあります）

6. 点検・整備

⚠ 警告

❍ **製品の点検・整備をするときは、電源スイッチを切ってからバッテリを取り外してください。**
事故の原因となります。

重要

❍ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。
❍ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

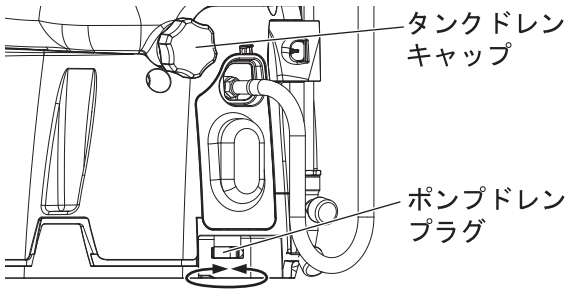
6-1. 点検・整備の目安

点検・整備項目	作業毎	毎月	毎年	参照ページ
バッテリ容量	○			11
薬液タンクと噴霧装置	○			23
薬液タンクブリーザ	○			23
余水ホース			○	23
製品の周りの清掃	○			–
ボルト、ナット	○			–

異常がある場合、または通常より振動や騒音が増えたと感じた場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

6-2. 点検・整備要領

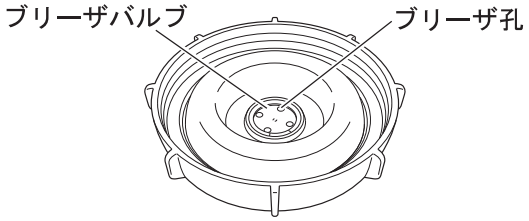
■薬液タンクと噴霧装置の点検／清掃



その日の作業が終わったら、清掃してください。
※ 水和剤を使用した時は、固まりが残らないよう清掃してください。

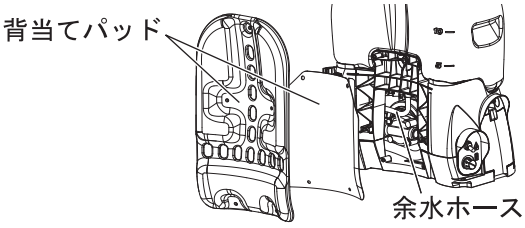
1. 薬液タンクに水を入れ、製品を始動してください。
2. ノズルコックを開いて 2 ～ 3 分間ノズルで噴射し、噴霧装置の内部を清掃してください。
3. 製品を停止してタンクドレンキャップ、ポンプドレンプラグを外し、薬液タンク、薬液ポンプ内の洗浄水を完全に排出してください。
   排出後、タンクドレンキャップ、ポンプドレンプラグを元通りに取り付けてください。

■薬液タンクブリーザの清掃



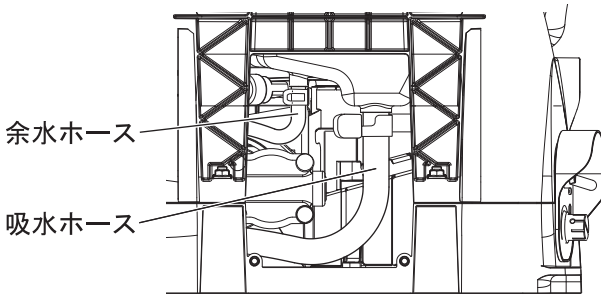
- ブリーザバルブとブリーザ孔は定期的に清掃してください。
- ブリーザバルブのシールの不良は、薬液漏れの原因となります。
  ブリーザ孔の詰まりは、吐出圧力の低下、あるいは薬液タンク破損の原因となります。

■吸水・余水ホースの点検／清掃



薬液がタンク内で **" かくはん "** されないときは、余水ホースを確認してください。

1. 本体から背当てパッド 2 枚を取り外してください。



2. 余水ホースにゴミや水和剤の固まりが詰まっていたら、きれいに取り除いてください。

7. 保管

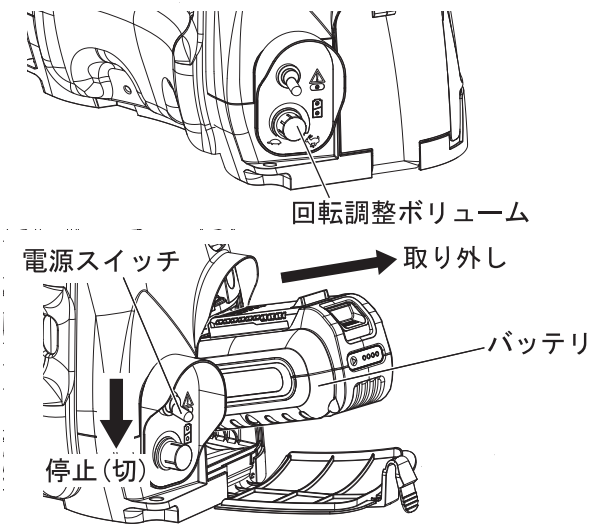
⚠ 警告

❍ 可燃ガスが充満している密閉された場所に保管しないでください。

火災の原因となります。



❍ 製品を長期間にわたって保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。



1. 回転調整ボリュームを低速 (🐢) の位置にしてください。
2. 電源スイッチを停止位置 (切) に動かしてください。
3. 製品からバッテリを取り外してください。
4. 薬液タンクと噴霧装置は 23 ページの「薬液タンクと噴霧装置の点検／清掃」の手順にしたがって清掃してください。
5. ホースとノズルパイプを取り外してください。
6. 製品が十分に冷えてから、外側に付いたホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
7. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
8. スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
9. 子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。
10. バッテリは規定充電量の約半分を充電してください。
11. バッテリは充電器に取り付けないで充電器とともに、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。また、保管温度は 5 ～ 40 ℃としてください。

8. 故障対策

8-1. 故障診断表

重要
❍ 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

■ 本体

故障内容	故障診断	原因	対策
電源が入らない		• バッテリが製品本体に正しく装着されていない	• 正しく取り付ける (12 ページ)
スイッチを入れてもモータが回転しない		• 回転調整ボリュームが低速の位置になっている	• 回転調整ボリュームを動かし、モータの速度を選択してください。(16 ページ)
		• バッテリの容量不足	• 充電する (10 ページ)
始動してもすぐに停止する		• バッテリが過熱状態になっている	• バッテリを製品本体から取り外し、十分冷ましてから再度取り付ける (18 ページ)
		• ノズルコックが閉まっている	• ノズルコックを完全に開ける (20 ページ)
		• ノズルが詰まっている	• ノズルの中子、こし網、ノズルを清掃する (20 ページ)
		• バッテリの容量不足	• 充電する (10 ページ)
ノズルコックを閉めてもモータが停止しない		• ホースの漏れ	• 増し締め、交換 (12 ページ)
		• ポンプの摩耗	• 修理、交換
		• 薬液タンクに薬液がない	• 補給
		• ポンプの詰まり	• 清掃、修理、交換
モータが間欠運転する		• ノズルコックが半開きになっている	• ノズルコックを完全に開け、吐出量の調整は回転調整ボリュームで行う
		• ホースの漏れ、詰まり	• 増し締め、清掃、交換
		• ポンプ、ノズルの詰まり	• 清掃、修理、交換
薬液が噴出されない または正常に出ない	細かい霧にならない	• ホースに穴や裂け目がある • 本製品に適当でないノズルを使用している (吐出量の大きいノズル)	• 交換 • 交換
	薬液タンク内の薬液がかくはんされない	• 余水ホースの詰まり	• 清掃か交換(23 ページ)
	薬液が全く出ない	• ゴミ・異物による薬液系統の完全な詰まり	• 清掃
		• 薬液タンクに薬液がない	• 補給
		• 薬液ポンプの破損	• 修理

8. 故障対策

■ 充電器・バッテリ

故障内容	原因	対策
充電状態表示灯が点灯・点滅しない	・充電器の電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	・電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む
	・バッテリが充電器に確実に差し込まれていない	・確実に差し込む (10 ページ)
	・充電器またはバッテリの端子部が汚れている	・端子部を清掃する
	・充電器のコードが断線している	・販売店へ依頼
	・バッテリの寿命	・新品と交換

＊ 表中に記載されていない故障など、ご不明な点はお買い求めの販売店にご相談ください。

8-2. 製品の廃棄

❍ **製品や部品を廃棄するときは、お買い求めの販売店に相談するか、自治体の指導に従ってください。**

8-3. バッテリの回収



❍ 本製品で使用しているバッテリはリサイクルのため、回収しています。
❍ 廃棄するときは、お買い求めの販売店または当社営業所にお持ちください。



❍ やまびこは一般社団法人 JBRC（ホームページ https://www.jbrc.com）に加盟し、リサイクルを実施しています。

バッテリにはリサイクル可能な希少資源が使われています。これらを有効活用するため、使用済みバッテリのリサイクルを推進しています。

9. 仕様

❍ 本体仕様

型式名		BSH171
項目	単位	
質量 (ホース類を除く、 バッテリを含む)	kg	7.3
容量 薬液タンク	L	17 (満タン時 17.5)
外形寸法 長さ × 幅 × 高さ (ホース類を除く)	mm	270×420×580
薬液ポンプ 形式 散布量 (付属ノズル) 圧力 (締め切り) ノズル	 L/min MPa(kgf/cm^2)	 差動式 1.9 2.2(22) 新スワース噴口 NH-B-2-2K(2 頭口)
ホース 内径 長さ	 mm m	 7.5 1.2

❍ 充電器仕様

型式名		LCC36D
項目	単位	
質量	kg	1.0
電源		AC100 V 50/60 Hz
定格出力		41.7 V 5.2 A
充電時間	min	約 40 ～ 50（急速充電）

❍ バッテリ仕様

型式名		LBC-360
項目	単位	
電池		Li-ion
質量	kg	1.3
容量		36 V 3.0 Ah

※ この仕様は予告なしに変更することがあります。

10. その他

10-1. 補用品と消耗品

部品名称	部品番号	備考
ノズル（新スワース噴口）	224100-14011	
除草カバー （サマーラックみえ～る６ K 型）	E291-000071	
ノズルパイプ	E270-000030	
ノズルコック	E245-000070	
ノズルグリップ	E271-000000	
ホース	E260-000170	
防除マスク	898544-01112	
計量カップ	X669-000000	

メ　モ

メ　モ

メ　モ

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6181

やまびこジャパン株式会社

〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1005（代）

北海道支社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

東北支社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

東日本支社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

中部支社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

西日本支社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

九州支社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X753-005575
X753604-0606

1904A 0208 ES

(C) 2014 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。